

Ludwig van Beethoven

「ベートーヴェンの森」公開講座

もっと知りたい!

ベートーヴェン作品演奏の歩み

「ベートーヴェンの森」公開講座もついに最終回。長い時を経てもなお、世界中で愛されるベートーヴェン音楽。日本ではどのように演奏されてきたのか、日本近代史の歩みとともに、戸ノ下氏がわかりやすく解説します。

日時・ところ

2021年

5月29日(土)

【午前の部】 10:30~12:00
須磨区文化センター
第1会議室(3階)

【午後の部】 14:30~16:00
東灘区文化センター
多目的ホール(9階)

講師

戸ノ下 達也

受講料 500円

※「ベートーヴェンの森」第4回公演のチケットをお持ちの方は無料です。

※「ベートーヴェンの森」第4回のチケットが予定枚数に達した場合は講座当日のチケット販売は行いませんので、ご了承ください。

※定員(各会場:30名)に達した場合は募集を締め切ります。

※事前申込が必要です。

※演奏はございません。

- 新型コロナウイルス感染予防対策のため、来場時は必ずマスクをご着用ください。
- 入場の際に体温検査を実施し、体温の高いお客様は入場をお断りする場合があります。
- 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、連絡先を提供する場合があります。

お申込み方法 各会場にお電話もしくは受付にてお申し込みください。

申込み受付開始日:4月20日(火)より

お申込み・お問合せ先 須磨区文化センター 078-735-7641

東灘区文化センター 078-822-8333

主催 (公財)神戸市民文化振興財団

ベートーヴェン演奏の 日本近代史

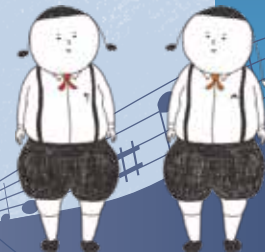
1860年代になって、軍隊や国民の「規律」「統合」を目的として導入された西洋音楽は、軍楽のみならず学校教育、讃美歌、音楽家や教育者の育成など、いくつかの水脈で普及しました。1910~20年代には、都市化・大衆社会化の進展、メディアの発達、映画や演劇等との協業により、「娯楽」や「教養」という役割も担うことになります。しかし、満洲事変からアジア・太平洋戦争に至る十五年戦争期は、総力戦体制構築に連動して、国策の啓発宣伝、国民の士気昂揚や教化動員的手段として、音楽を始めとする文化領域を動員し、1945年8月の敗戦を迎えます。このように、日本の西洋音楽受容は、まさに日本の近代史の歩みと同一でした。その歴史の中で、ベートーヴェンの作品はどのように演奏され、戦後に継続したのでしょうか。ベートーヴェン作品の演奏の歩みを振り返ってみましょう。



戸ノ下 達也

Tatsuya Tonoshita

1963年東京都生まれ。立命館大学産業社会学部卒。研究課題は近現代日本の社会と音楽文化、文化政策の考察。著書に『「国民歌」を唱和した時代—昭和の大衆歌謡』(吉川弘文館、2010年)、『音楽を動員せよ—統制と娯楽の十五年戦争』(青弓社、2008年)、編著書に『戦後の音楽文化』(青弓社、2016年)、『日本の吹奏楽史』(青弓社、2013年)、『日本の合唱史』(青弓社、2011年)、『総力戦と音楽文化—音と声の戦争』(青弓社、2008年)のほか、『音楽文化新聞』復刻を監修、『ハンナ』『音楽現代』『現代ギター』で論考や公演・録音評を担当。またコンサートの監修による「音」の再演にも注力している。第5回ASRAC音楽文化賞受賞。洋楽文化史研究会会長、日本大学文理学部人文科学研究科研究員、都留文科大文学非常勤講師。



生誕250年ベートーヴェン・チクルス
ベートーヴェンの森
第4回

2021年6月27日(日)15:00開演(14:30開場) 神戸文化ホール 中ホール

チケット価格 [全席指定] S席 4,000円 A席 3,000円 U25(25歳以下) 1,000円

曲目 ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61
交響曲 第7番 イ長調 作品92

指揮:鈴木 秀美

ヴァイオリン:白井 圭

管弦楽:神戸市室内管弦楽団

チケット発売場所 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349
チケットぴあ TEL.0570-02-9999[Pコード:193-114]
ローソンチケット TEL.0570-000-407[Lコード:52885]
神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300

詳しくはホームページでご確認ください。<https://www.kobe-ensou.jp>